

SPOGOMI World Cup 2023

青森STAGE

Rule Book



CHANGE FOR THE BLUE とは

国民一人ひとりが海洋ごみの問題を自分ごと化し、“これ以上、海にごみを出さない”という社会全体の意識を向上させていくことを目標に、日本財団「海と日本プロジェクト」の一環として2018年11月から推進しているプロジェクトです。
産官学民からなるステークホルダーと連携して海洋ごみの削減モデルを作り、国内外に発信していきます。



ルール動画はこちら→



TITLE 競技ルール

1

<基本事項>

- ・指定された時間及びエリアで拾ったごみの種類・重さに応じて与えられる得点を競います。最も高得点を獲得したチームが勝利となります。
- ・**ごみ拾いは1時間、分別は20分**となります。時間をオーバーした場合には減点対象となり、3人で1チームとします。
- ・競技エリア内には、安全とルール順守状況を確認するために、複数人の審判員を配置しています。ルール違反時には注意が入ることがあります。複数回注意されても是正されない場合には減点・失格の対象となります。
- ・ここで定めるルールとは別に交通ルールなどを順守して安全に実施してください。
- ・特に道幅が狭い車道などは十分に注意してください。なお、競技中にケガや事故などが発生した場合は、速やかに周囲の審判員やスタッフに知らせ、指示を仰いでください

■ごみの種類とポイント

 **燃えるごみ** [赤 30ℓごみ袋]

紙類／布類／雑誌類／弁当・食品容器包装ごみ／コンビニ袋など

※草／落ち葉／枝／家屋廃材などは含まず。

100 g → **10 point**
※100g以下は四捨五入

 **燃えないごみ** [青 30ℓごみ袋]

ビニール傘／ガラス類／鍋／フライパン／瀬戸物類／電池／ライター／鏡／金属類など

※小型電化製品（ドライヤー／シェーバーなど）程度の大きさは可。それ以外は粗大ごみ扱い。ブロックやレンガは含まず。

100 g → **10 point**
※100g以下は四捨五入

 **ビン／缶** [赤 30ℓごみ袋]

中身を捨てたもの

100 g → **12 point**
※100g以下は四捨五入

 **ペットボトル** [青 30ℓごみ袋]

中身を捨てたもの

100 g → **25 point**
※100g以下は四捨五入

 **たばこの吸殻** [半透明 レジ袋]

100 g → **300 point**
※100g以下は四捨五入

 **粗大ごみ**

粗大ごみは処理が困難なため、拾わないものとする。配布するごみ袋（700mm×500mm＝30ℓ）に入らない大きなごみ

例：扇風機／布団／座布団／消火器／コンクリートブロック／金庫／金属棒／タイヤ／コンロ／パソコン／ベビーカー／炊飯器／ など

マイナス 100 point

＝競技面でのルール＝

1 : 先頭と最後のメンバーの間隔が
10m以上離れないこと

※最後尾のメンバーがゴールラインを通過し、ゴール地点
に立っている審判員に報告した時点がゴールとなります



3 : 走らないこと（早歩きは可能）

<定義>

歩く：常にどちらかの足が地面についた移動

走る：両足が同時に地面から離れる
浮く、ジャンプする瞬間がある移動



2 : 拾ってはいけないもの

(例)

- ・ 既にごみ箱に入っているごみ
- ・ ごみの収集場所に置いてあるごみ
- ・ 誰かが所有していると思われるごみ
※周囲の状況（整理して置いてある、最近も使った形跡がある等）から判断
- ・ 粗大ごみ

<定義>

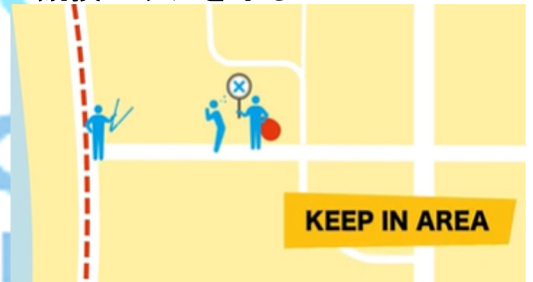
配布するごみ袋

(700mm×500mm=30%) に入らない
大きなごみ

例：バッテリー／扇風機／布団／座布団
消火器／コンクリート／ブロック
金庫／金属棒／タイヤ／車輪
コンロ／パソコン／ベビーカー
炊飯器

- ・ 危険なごみ（注射器、ガスボンベなど）
- ・ 道路の側溝やドブ板を持ち上げて拾ったごみ

4 : 競技エリアを守ること



5 : 立ち入り禁止エリアに入らない

- ・ 川や河川敷
- ・ 私有地

※駐車場について

コインパーキングは私有地ではあるが、誰でも使用できるという公共性が高いことから立ち入り可とする（企業・団体等専用の駐車場は不可とする）

・ 分別ルールを守ること



DO NOT PICKUP



6 : 交通ルールを守ること



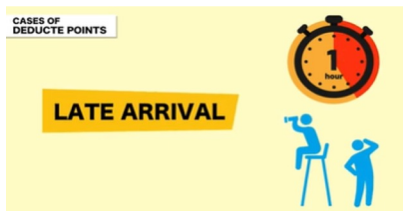
＝減点及び失格について＝

- ・ ルール違反時には審判から注意を受けることがあります。審判員から注意を受けて、繰り返し（2回以上）注意をしても従わない場合には減点、**悪質な場合には審判の判断で失格**にすることがあります。



▼減点となるケース

- ・ 「競技面でのルール」に違反した場合
- ・ 時間内にごみ拾いを終えて戻ってこない場合
-1分ごとにマイナス10点、10分以上遅刻の場合は失格
(例)1~59秒は-10点、60~119秒は-20点



- ・ 計量時ごみの分別が正しくなされていない場合はマイナス100点
-ごみを分別した後に再度計量を実施する

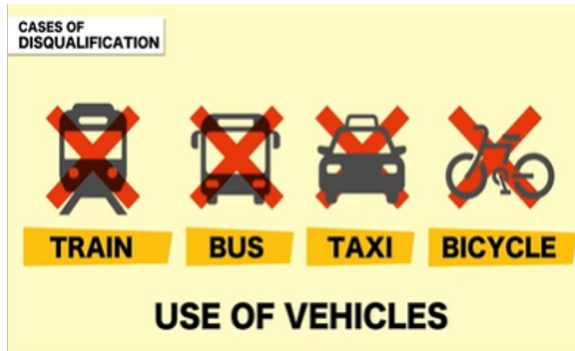


- ・ 「拾ってはいけないもの」（詳細は先述）を拾ってきた場合マイナス100点



▼失格となるケース

- ・電車／バス／タクシー／自転車など、徒歩以外の手段で移動した場合



- ・落ちているごみを拾う以外の方法でごみの重量を増やした場合
(例) 水で重さをかさ増しする／ごみ箱のごみを加える／店舗からごみをもらう etc



- ・スポーツマンシップにのっとっていない行為
(例) 暴力的行為に及ぶ、他チームや審判に悪態をつく等
-審判及びスタッフ等の注意を聞かず、悪質な行為を続けた場合
-定められたごみ拾い終了時間から、10分以上遅刻して会場に戻ってきた場合

その他、ここに記載のない場合にも、危険・悪質、その他理由でスポーツごみ拾いの趣旨と相応しくないと判断される行為については、減点・失格の対象といたします。
※審判員やスタッフが判断